

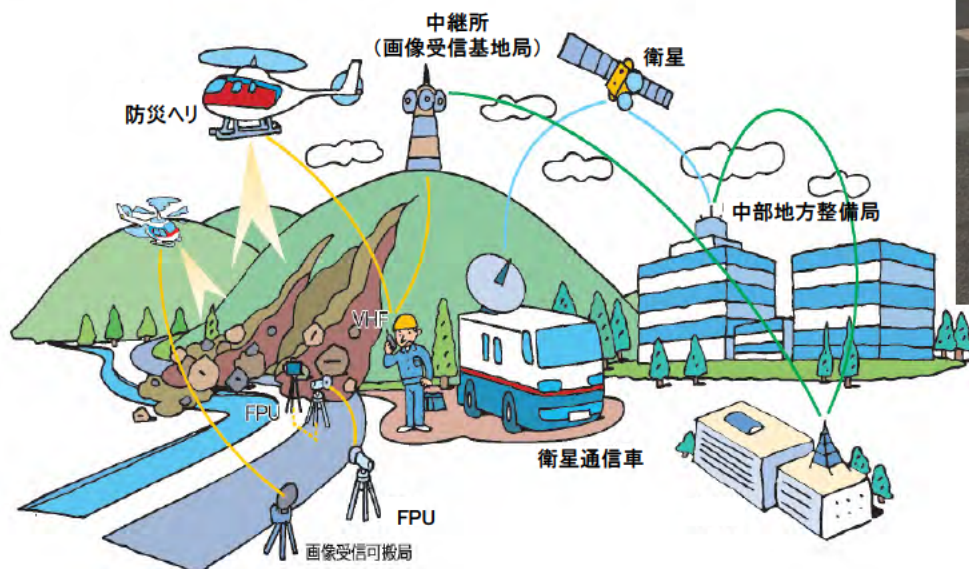
衛星通信車

災害現場の映像をリアルタイムに送信します。

被害状況の正確な把握が、早期復旧につながります。災害に強い通信衛星を利用し、映像・音声などで情報を提供します。スピーディーな情報提供を行い、復旧活動を支援します。

■特徴

- 日本国内のほぼすべての場所で通信ができます。
- 鮮明な映像を提供できるほか、電話、FAX等の通信もできます。



利用イメージ



無線中継装置「パソリンク」により、衛星通信車より2km程度離れた場所の映像も伝送可能

■仕様

車体寸法： 全長6.37×全幅2.10×全高3.04m
運転免許： 中型自動車免許
乗車定員： 5名
使用燃料： 軽油(タンク容量 100L)
駆動方式： 前後輪駆動
連続使用時間： 約24時間(給油1回分)

■主要装備品

電源設備： ディーゼル発動発電機
100V 60Hz 7KVA
通信設備： アンテナ装置
650×500mm程度
衛星通信装置
25W SSPA
画像符号化装置
画像送受信各1回線 H.264



国土交通省 中部地方整備局